

## 令和3年度児童英語教員養成課程修了予定 卒業後の進路として、早期英語教育に関わる3名にインタビュー！

内海 真由美さん(英米語学科) 千葉県内公立小学校 内定



Q:小学校教員を目指すきっかけは？

A:まず教員になりたいという思いで、中高教職課程と児童英語教員養成課程を取り始めました。児童英語科目で子どもの発達過程を学んでいくうちにさらに興味が湧き、「ユネスコ子どもキャンプ」に参加して子どもたちと一緒に活動したのが大きなきっかけでした。それで、3年生から千葉経済大学短期大学部の小学校教員養成課程を取り始めました。

Q:中高教職・児童英語・小学校教職と三足の草鞋で大変でしたね。

A:3年次が最も忙しく、前期・後期で各30単位、計60単位取りました。でも、他の教職生より知識も増え、それに関連づけて実践力も伸びたのではないかと思います。

Q:「専科教員」よりも「学級担任」を希望されているのですね。

A:はい。子どもたちとより深く関わることができ、多くの教科を教えることが外国語指導にも応用できると思っています。児童英語教員養成課程の授業デモの経験は、他の科目の指導にも応用でき、また他の科目での指導を外国語指導にも活用できることがわかりました。児童英語を取って本当に良かったです。

清水 日南子さん(IC学科)  
アイトップス株式会社 内定



Q:どんな会社ですか？

A:子ども英会話教室の企画・運営や、英語教育システムの企画・開発・販売の事業展開をしている会社です。「子ども英会話 Peppy Kids Club」を全国展開しています。

Q:清水さんの業務内容は？

A:1年目は営業職となりますが、2年目からは、1歳児から高校生までを対象とした講師職を希望しています。

Q:なぜこの会社を希望したのですか？

A:幼児から小学生を中心に教えたかったので、ちょうど年齢層が合っていました。また、会社の教育理念として、異文化理解、体験型学習に力を入れている点や、ネイティブ講師とチームティーチングできる点が魅力に感じました。また、「ソルマーク式」と呼ばれる手や指の動きを使った発音メソッドを取り入れていることも魅力に感じています。

Q:本課程で学んだことが活かそうですね。

A:はい。音声指導や読み聞かせの指導で習得したスキルを教育現場で還元していきたいと思っています。船橋実習に早く参加したことで、後で履修した2つの指導法の授業デモ準備を深く考えることができました。この課程で培った指導力を特に幼児から小学生の指導に活かしたいと思っています。

田中 彩瑛さん(英米語学科)  
サイエイ・インターナショナル 内定



Q:どんな会社ですか？

A:英語教育の事業(英会話スクールや英語保育)だけでなく、進学教室など教育事業をおこなっている会社です。私は、英会話講師として働く予定です。

Q:学習者の年齢層や指導内容は？

A:小学校高学年から中学生が中心で、主に英検の取得を目指す指導内容です。中学生の英検取得は、高校受験に大きく影響します。私自身は高校2年の時に準1級を取得しました。サイエイ・インターナショナルでは、ネイティブ講師と日本人講師がチームとなって指導します。

Q:児童英語課程で習ったことが活かせることは？

A:つまりきや困難を感じる学習者のために、音の指導や読み聞かせをして、英語学習に対する意欲・関心を高める工夫ができると思っています。英検取得を目指すとは言っても授業が面白くなければ、生徒の学習意欲は高まりません。教室のカリキュラムは、CLILや文化理解を取り入れた授業内容であることが大変魅力的に思えたので、志望しました。児童英語課程で学んだ「音素認識」などの音の指導は、読みの能力を育てる上で必須だと思うので、仕事でぜひ使っていきたいと思っています。

### 「児童英語教員養成課程」

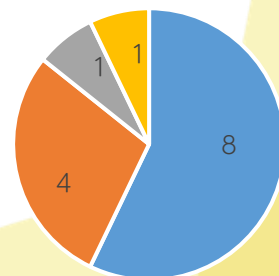
### 令和3年度課程修了予定、および課程履修者の進路先内訳(計14名)

速報！

今年度卒業予定者で児童英語教員養成課程を修了または履修者は計14名です。

進路先は、小学校教員、英語教育関連事業、一般企業等です。

- 進路先一覧
- ・千葉県小学校教員
  - ・英会話教室営業・講師
  - ・教育関連企業(塾講師)
  - ・社会福祉関連企業
  - ・一般企業
  - ・その他






課程履修生の所属学科  
■英米語 ■IC ■ポルトガル語 ■スペイン語

# ～2021年度児童英語教育実習(船橋)説明会実施～

12月15日(水)昼休みにZOOMにて来年度の実習についての説明会を実施しました。  
参加できなかった方は、下記の履修要件を参照してください。  
参加希望者は、新学期4月の履修登録期間に必ず「船橋実習」を登録してください。

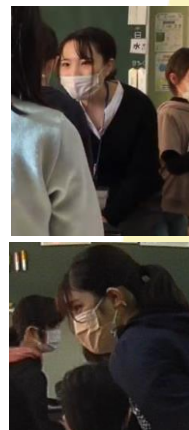
## 先輩学生の体験談

- ・清水日南子さん(IC学科4年)「私はSTEP1科目を修了した段階で実習に参加しました。最初は不安でしたが、先生方が親切で何より子どもに直接接触れることで、将来目指すべき目標が定まりました。実習後にSTEP2科目を履修して、より実践的で子どもの認知や発達段階に応じた授業計画を立案し、授業実践に取り組めるようになったと思います。」  

- ・田中紗瑛さん(英米語学科4年)「学内の4科目を全て履修してから実習に臨みました。指導法を履修していたことであまり緊張せずに実習を始めることができました。ALTとのやり取りを児童に見せたり、机間巡視をおこなって児童に寄り添う指導を心掛けています。」  

- ・金永純さん(英米語学科4年)「現在最後の科目(指導法L&S)を履修しながら実習に参加しています。男性ということもあって、高学年の男性の担任の先生方が頼ってくださいます。ALT不在の曜日に行っているのので、ALTの役割を担当しています。いろいろな学年での実習の経験が、授業のデモづくりに大変役立っています。男性学生の皆さん、ぜひ実習に参加してください！」  


## 2022年度船橋実習履修要件

令和4年度(2022)の前期終了時まで  
「児童英語教育論」及び「認知発達と英語教育」を修得済みの2～4年次の学生  
→1～3年次後期の時点で未修得科目がある場合、2～4年次前期に「児童英語教育実習(船橋)」を履修登録し、8月の時点で教務部で単位修得の確認ができた学生は対象となる。

実習期間:2022年9月中旬ごろ～2023年1月中旬ごろまで  
週1回大学の授業のない曜日に船橋市内の小学校に「英語学習サポーター」として派遣される。全15回(2単位)



## 2021年度 船橋実習実施中



今年度は、16名が船橋市内の小学校で実習中です。コロナ感染症対策で一部の学校は10月からの受け入れとなりましたが、現在全員が元気に小学校に通っています。

実習生は初めての経験で、教室内の立ち位置や児童への指導方法など戸惑うこともありましたが、事前指導や2回の中間指導を受けながら実践力を磨いています。また、ALTとのやり取りを見せたり、日本人コーディネーターの先生の教材作成をお手伝いしたり、授業中は児童の支援をおこなったりと、様々な観点から児童の発達を観察しながら、外国語の指導を実践しています。

2020年度から教科となり、「音声から文字への円滑な指導」が中学年から高学年で実際にどのように行なわれているのか、指導者目線で体感することができます。



神田外語大学児童英語教育研究センター(CTEC)

[TEL] 043-273-1579

[E-mail] [ctec@ml.kuis.ac.jp](mailto:ctec@ml.kuis.ac.jp)

[URL] <https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/ctec/>

